

ワカメ養殖の省力化機器開発！

【海藻種糸巻付器】

ワカメ養殖時の種糸巻き作業が軽減できる機器『海藻種糸巻付器（以下「筒」）』を開発しました（2011.6 特許出願公開）。

構造はいたってシンプル。市販の塩化ビニール管に種糸約 50 mを巻いたものです。この筒とワカメの菌（配偶体）の大量培養技術を組み合わせ、種糸に大量のワカメの菌を付着させ、約1ヶ月間水槽で芽が出るまで管理した後、海に張った太いロープに巻き付け養殖を行います。



開発試験は2年前から行っており、今年から県内各地先で筒を使用したワカメ養殖の実証を行っています。また、震災復興協力のため宮城県に約350本を提供しました。

【特徴】

- ・種糸巻き作業時間の大幅短縮
- ・作業の軽減（重労働→軽作業）
- ・危険度の軽減（時間短縮・軽作業）
- ・種糸の無駄の減少（従来は種糸を巻きやすい長さに切って巻き付けるため、再度結ぶ必要があった＝結び部分の無駄）
- ・芽の脱落防止（従来の方法では、作業上の擦れにより芽の脱落が多かった）

【使用方法】

- ① 筒に養殖用ロープ（幹縄）を通しスライドさせるだけです。ロープに自動的に、らせん状に種糸が巻き付きます。
- ② 流れ藻等により種糸が切断し、ほつれるのを防止するため、数メートル置きに輪ゴムを取り付けます。
- ③ 筒の糸が無くなったら、筒を開いて幹縄から抜き取ります。



① 筒をスライドさせると自動的に巻き付く種糸



② 幹縄と種糸を輪ゴムでとめる。



③ 糸を巻き終えた筒を幹縄から抜き取る。



海藻種糸巻付器を使用した種糸で養殖したワカメ（男鹿市戸賀湾）



収穫した養殖ワカメ